

2024年

かわむら小児科

公式 LINE



モ〜モ〜くらぶ



かぜは薬ではなおらない

「かぜは万病のもと」とよく言われます。でもかぜは薬でなおるものでしょうか。かぜのほとんどはウイルスの感染によるもの、抗生剤は効きません。抗生剤は細菌を殺す薬なのでウイルスには効きません。咳や鼻水やのどの痛みをおさえる薬、解熱鎮痛剤などを一般的に「かぜぐすり」と言います。ただし、咳、鼻水はのどや鼻などのウイルスや異物を体から外に出そうとする防衛反応であり、薬を使って咳や鼻水を止めたり、熱を下げてみてもかぜは早くなおらない、かえって病気を長引かせることもあると言われていています。

ではかぜはどのようにして治っていくのでしょうか。ウイルスが体の中に入ってくるとそれに対する免疫(抗体)が体の中で作られます。それがウイルスをやっつけて治っていくわけです。すなわち、かぜは自然に治るものであって薬で治るものではありません。薬をのんでいたらひどくならずすむというものでもありません。「かぜぐすり」は咳がひどくて眠れない、つらそう、鼻水がひどくつらそう、のどが痛くて食べれない、そういった時に上手に使っていくとよいでしょう。かぜのウイルスは200種類以上あります。いろいろなかぜにかかるのはしかたがないですね。

熱が出たらすぐに夜間や休日に受診する方もおられます。しかし、かぜは早く受診して軽いうちに薬を出してもらったからといって早く治るというものではありません。ウイルスでも効く薬があるのはインフルエンザと水ぼうそうぐらいです。早く受診するとかえって病気が何かよくわからないこともあります。熱が高い6ヶ月未満の乳児、呼吸が苦しそう、ぐったりして顔色が悪い、嘔吐や腹痛がひどい、けいれんを起こしたり意識がおかしいなどでなければ一晩おうちで様子を見てもよいでしょう。

体によいという薬はありません。副作用のない薬はありません。子どもたちの健やかな成長のためには必要のない薬は飲ませない方がよいと考えます。

親のかかわり

親は子どもになにか問題が起こると自分の責任というものを必要以上に感じてしまいがちです。

しかし、どの親も完ぺきではありません。

失敗は許される。何回でもやり直せる。明日はできるかも。そう思いながら子育てをしている親を、子どもはしっかり見ています。子どもと一緒に成長できるのが親なのだと思います。逆に言えば、子どもが親を成長させてくれるのかもしれない。

子育ては長いです。何がいけなかったのかと後ろ向きに考えるよりも、こんな親でありたいと前向きにチャレンジする姿を見せてあげるほうがいいですね。

(ゆっけ)

……感染症情報(11月1日現在)……

- ★マイコプラズマ感染症、手足口病が少し少なくなりましたが、まだ流行しています。
- ★アデノウイルス、溶連菌も少し見られます。
- ★新型コロナ、インフルエンザA型がまだ時々出ています。

こんとあき

作: 林 明子

おばあちゃんに会いに行くために、主人公の「あき」とぬいぐるみの「こん」が列車に乗って旅に出ます。

ハプニングばかりの2人の冒険が見られる絵本です。

(いちご)



11月9日(土) 休診

全国学校保健・学校医大会出席のため